



腹腔鏡による 最新の大腸がん手術

〜創と痛みの小さな手術を目指して〜



だな たけし
産業医 田名 毅
(首里城下町クリニック)

産業医だよりでは、毎月当院で行われている地域むけ医療講演会の内容を抜粋してお伝えしています。
7月の地域むけ医療講演会は浦添総合病院消化器病センター下部消化管外科部長 佐村博範先生をお招きして、「腹腔鏡による最新の大腸がん手術〜創と痛みの小さな手術を目指して〜」と題してご講演いただきました。以下のその内容を要約してご紹介します。

1. 大腸がんが発生するメカニズム

大腸がんの罹患に関する因子を右の表で示しました。
高脂肪食を控え、線維の多いもの（野菜など）を食べることが重要です。また大腸がんの家族歴がある方は注意しましょう。

大腸がんの罹患に関する因子

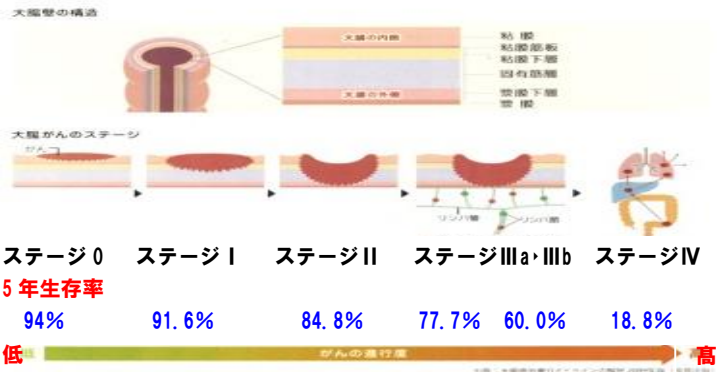
	危険因子	予防因子
環境要因	高脂肪、肉(赤身・加工肉) 砂糖、卵 タンパク質過多、 アスベスト従事者	食物繊維、野菜、果物 魚、海産物、 カルシウム、ビタミンD
人間側要因	大腸がん家族歴、高身長、 未産婦 潰瘍性大腸炎、胆のう摘出経験あり	運動 多産婦 経口避妊薬使用経験あり
病因	喫煙 飲酒(ビール)	非ステロイド系消炎鎮痛剤

がん対策情報センターホームページ&「がんの教科書」中川恵一

2. 大腸癌の進行具合と症状

表面の段階で見つければ長生きできる確率が高いのですが、進行してみつかりと厳しくなります。転移があるときは5年生存率は18.8%まで落ちます。

大腸がんの進展



大腸がんの症状

- 排便の変化
 - 血便（血液が混じった便）が出る
 - 下血（げけつ：肛門からの出血）が起きる
 - 便が細くなる
 - 下痢と便秘を繰り返す
 - 便が残っている感じがする
- お腹の変化
 - お腹が張っていると感じる
 - 腹痛が起きる
 - お腹にしこりがある
- その他の変化
 - 貧血が起きる
 - 嘔吐（おうと）する
 - 急に体重が落ちている

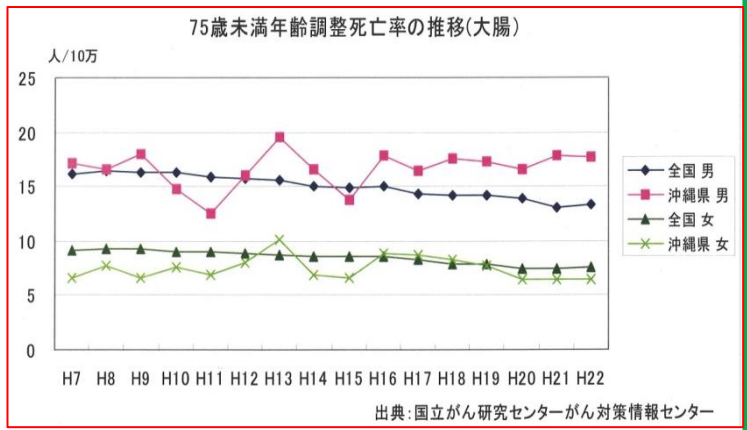
痔だと思っていた
他疾患で通院中
『病院に通っているのにわからないのか?』
大腸がんのサイト

便潜血検査が陽性だったり、肛門から出血があっても「痔だと思って放置していた」という話をよく聞きます。まずは「血を見たら迷わず大腸カメラ」を受けましょう！

3. 大腸がん検診（便潜血反応検査）の勧め

死亡者数の多いがんを順に並べると、大腸癌は男性3位、女性1位です。沖縄県は全国と比較し、大腸癌でなくなる方が多いことがわかっています。大腸がん検診の受診率が低いことも関係しているようですので、定期的な大腸カメラ、毎年の検便（便潜血反応検査）を受けましょう。

※食品関係の従事者が定期的に行う検便検査は便培養検査で内容が異なりますので別で受けましょう。



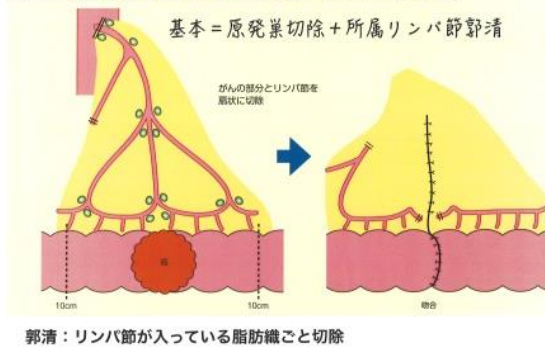
4. 大腸癌の治療

①まずは最近広く行われるようになってきた**内視鏡的摘除術**です。早期に発見されれば開腹することもなく大腸カメラの先端にあるワイヤーでカットするだけで済みます。早期発見が重要なわけです。

②深く癌が進行している場合は外科的に摘除が必要になります。その際の術式は図のようになります。

結腸がんの手術

がんから10cmほど離れた部位で腸管を切り、腸管をつなぎ合わせます(吻合)。



これまではお臍の上から下までを大きく切開する開腹手術が一般的でしたが、最近**は佐村先生のように腹腔鏡下手術**ができる医師が増えてきたため創と痛みの小さな手術で済むようになりました。当日の講演では実際に手術の様子を多くの動画で私たちにを見せていただきました。

驚いたのは開腹手術では見えないところまで、カメラなら分け入ることができるので、かえって出血量が少ない安全な手術となり、また詳細なカメラの画像で組織を見極めていくので、他の臓器を傷つけることなく病変部だけを切り取ることができるということでした。

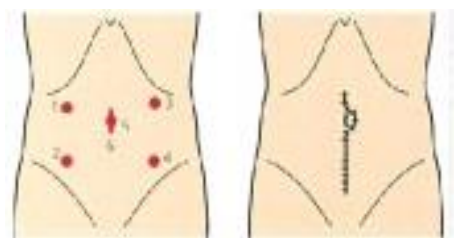
5. まとめ

このように、腹腔鏡手術経過はカメラで画像として詳細に記録されますので、振り返りができ、技術的な進歩や後輩の育成につなげることが可能とのことでした。先生が最後に話していたことが印象的でした。

“小さな創の手術、痛みのない手術、傷のない手術、記憶に残らない手術が、腹腔鏡下手術とのことです”

医学・医療の進歩を教えてもらったご講演でした。

ESD



腹腔鏡下手術

開腹手術の場合

大腸がんの治療

- 内視鏡的摘除術
- 外科的切除術
 - 腹腔鏡手術
 - 開腹手術
- 化学療法 (抗癌剤治療)
- 放射線(化学)療法
- 免疫療法

治療の目標 ⇒ 体内から癌細胞をなくすこと



169回 首里城下町クリニック 『地域むけ医療講演会』

日時: 平成29年8月16日(水) 19:00~20:30

テーマ: 健やかな肌を保つために
~保湿の重要性と亜鉛欠乏症について~

沖縄赤十字病院 皮膚科

部長 上原 絵里子 先生

その他クリニックに関しては HP をご覧ください <http://www.shuri-jc.jp>

首里城下町クリニック 『働く人健康支援室』 は、



産業医・内科医
高血圧が専門です
田名 毅

あなたの **相談窓口** です!



保健師・産業カウンセラー
認定産業看護師 田名彩子

相談窓口

産業医は、あなたの職場とそこで働く人々の心とからだの健康を支援します。

- ★訪問日を設けている事業所の職員は、お気軽に訪問日をご活用下さい。
- ★クリニック内の『働く人健康支援室』では健康相談を行っています。
事前にお電話の上、いらしてください。
- ★クリニック内で産業医との面談は診療の合間となりますが可能です。
事前にお電話ください働く人健康支援室で“産業医との面談”とお声掛けください。診察や検査の必要がない限りは無料です。
- ★その他、電話やメール相談も随時行っています。

暫く
産休・育児休暇に
入ります!



保健師・産業カウンセラー
キャリアカウンセラー
與儀雅代



看護師・衛生管理者
糖尿病療養指導士 新垣朋子



認定産業看護師
山城愛子



連絡先

首里城下町クリニック 働く人健康支援室
☎98-885-5000
携帯 080-4312-9200 (田名彩子)
メール saiko@biscuit.ocn.ne.jp

プライバシーは守ります。
お気軽にご利用下さい!